

分担研究報告書

研究の推進：研究開発・国際比較

AMED, 厚労省等の公的研究

研究分担者 深水 圭 久留米大学

研究要旨：2008年から2022年において日本腎臓学会員による公的資金獲得データの収集・解析を行った。総獲得数194件、AMED51件、JST71件、厚労科研72件であった。総獲得研究資金は93億4669万円、AMED51億688万円、JST5億8146万円、厚労科研36億5836万円であった。日本腎臓学会として多くの資金を獲得していた。

A. 研究目的

これまで日本腎臓学会員が公的資金を獲得してきたが、一望して経年的にどの程度資金を受けているか、実情が見えてこなかったことから、経年的にデータを蓄積する必要があり、日本腎臓学会としても社会にも広くCKD研究開発が認識されるべきであると考えられ、今回データの収集・解析を行った。

B. 研究方法

2008年から2022年までに獲得したAMED、厚労科研、科学技術振興基金(JST)について、全ての日本腎臓学会の会員に対してメーリングリストを使用してアンケート調査を行い、その結果をもとに解析を行った。

C. 研究結果

日本腎臓学会としての研究費総獲得数は194件で93億4669万円、内訳はAMED51件51億688万円、JST71件5億8145万円、厚労科研72件36億5836万円であった。研究の種類で最も多かったのが病態解明であり68件であった。次に多かったのがCKD対策で24件、その他難治性疾患事業は22件、新規治療法は13件などであった。厚労科研はCKD対策が最も多く、AMEDは難治

性疾患事業、JSTは病態解明が最も多かった。

D. 考察

日本腎臓学会として獲得した件数・研究費は93億円程度であることが判明し、以前調査した件数、金額と比較して多く、高額であった。特にAMED獲得数の増加が著しく、学会としてAMED研究へcontributeしていた。今後のさらなる研究費獲得が期待される。

E. 結論

日本腎臓学会会員のAMED、JST、厚労科研獲得数、獲得資金を収集・解析した。日本腎臓学会として多くの資金を獲得しており、今後のさらなる研究費の獲得増加が期待される。

G. 研究発表

1. 論文発表
特になし
2. 学会発表
特になし

H. 知的財産権の出願・登録状況

特になし